

# 乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

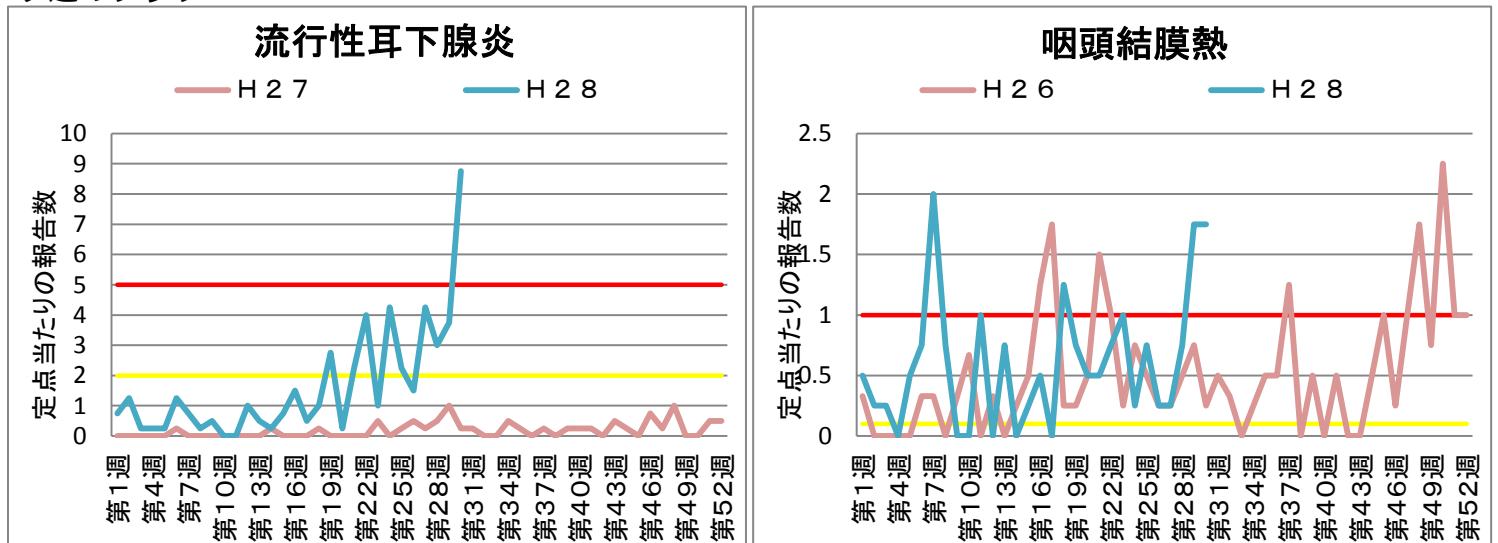
第 30 週 平成28年7月25日 ~ 平成28年7月31日

## 今週のコメント

○流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)は5年ぶりに全国的に流行していますが、乙訓地域では流行警報レベルとなりました(定点当たり8.75件)。主に4~8歳のお子さんが罹患されています。流行性耳下腺炎は、ムンプスウイルスの感染を原因として発症する感染症です。2~3週間の潜伏期を経て発症し、片側または両側の耳下腺の腫脹、疼痛、発熱を主症状とします。感染経路は接触感染・飛沫感染です。無菌性髄膜炎、脳炎、難聴、肺炎などの合併症を起こす場合があります。効果的な予防方法は、ワクチン接種です。

○咽頭結膜熱(プール熱)が増加しています。例年7月下旬から8月上旬をピークに流行が見られる夏かぜの一種です。感染経路は飛沫感染又は手指を介した接触感染です。手洗いとうがいを励行し、タオルの共用は避けましょう。

## 今週のグラフ



\* ——— 流行警報基準値です      ——— 警報継続基準値です

## 今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	-	手足口病	2
RSウイルス感染症	-	伝染性紅斑	-
咽頭結膜熱	1.75	突発性発しん	1.75
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.5	百日咳	-
感染性胃腸炎	5.5	ヘルパンギーナ	0.5
水痘	0.25	流行性耳下腺炎	8.75

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

\* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

## 参考資料等

報告週対応表

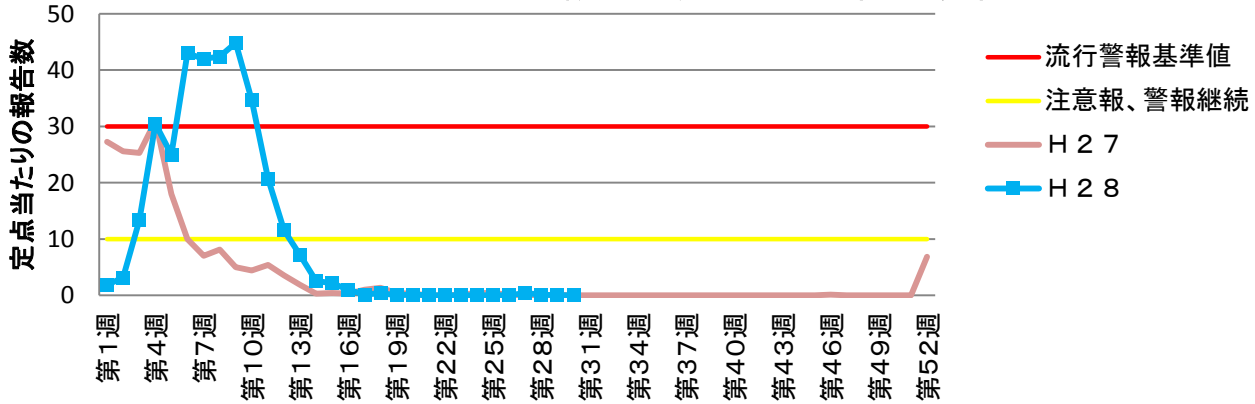
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

警報・注意報基準値の説明

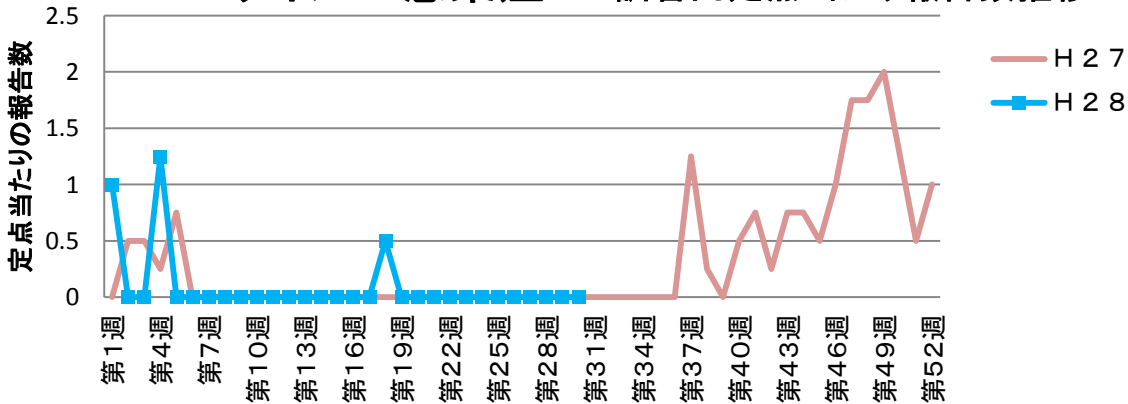
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide03.html>

## 定点報告による各疾病の推移

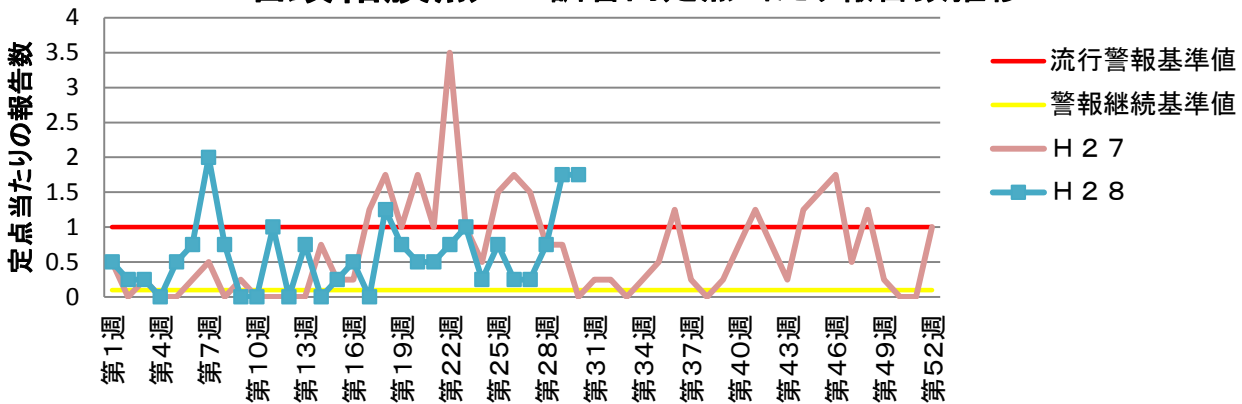
## インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



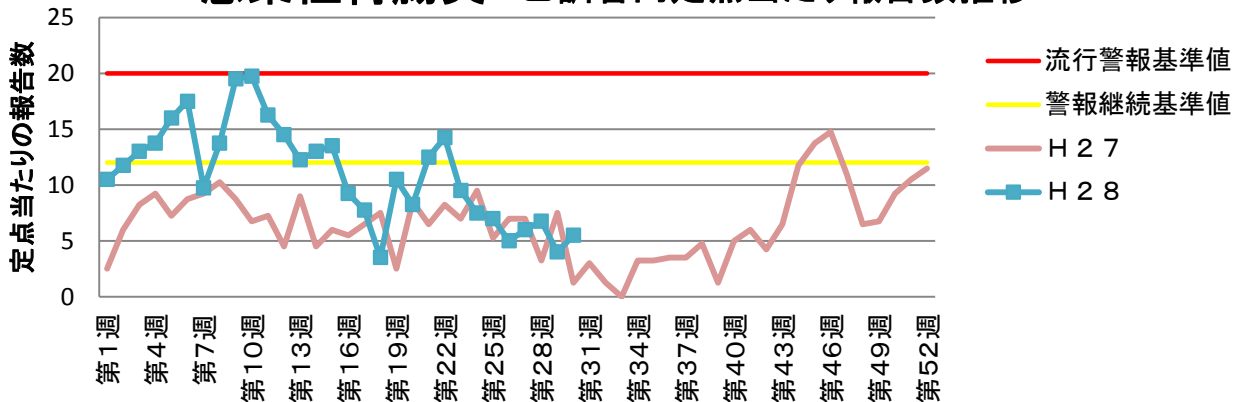
## RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



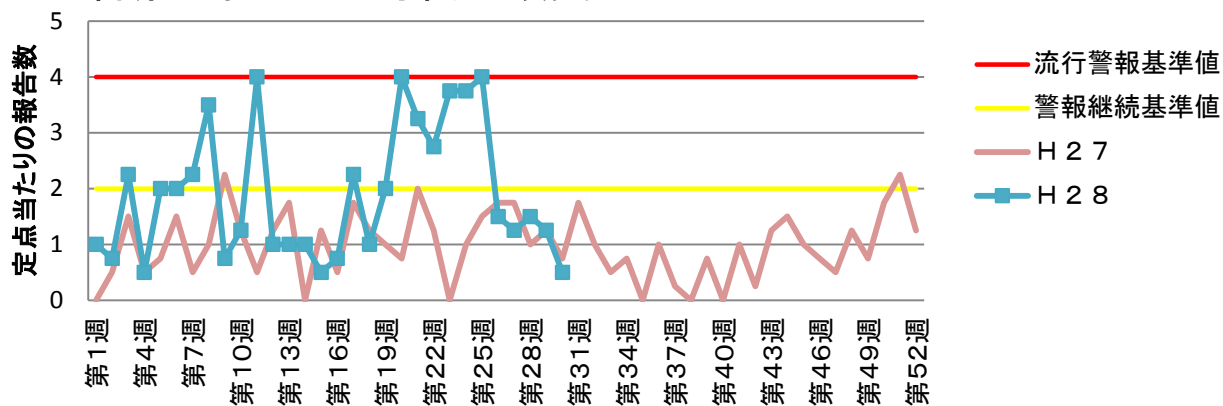
## 咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



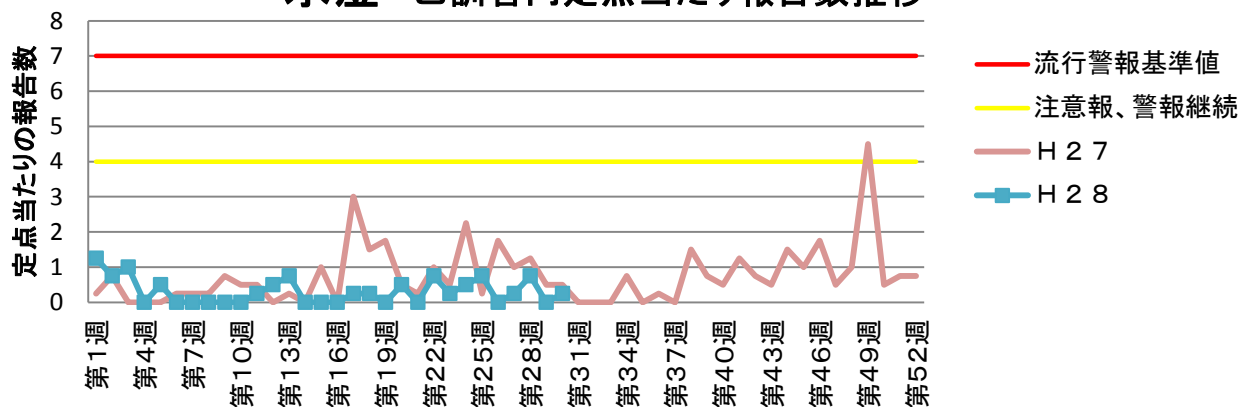
## 感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



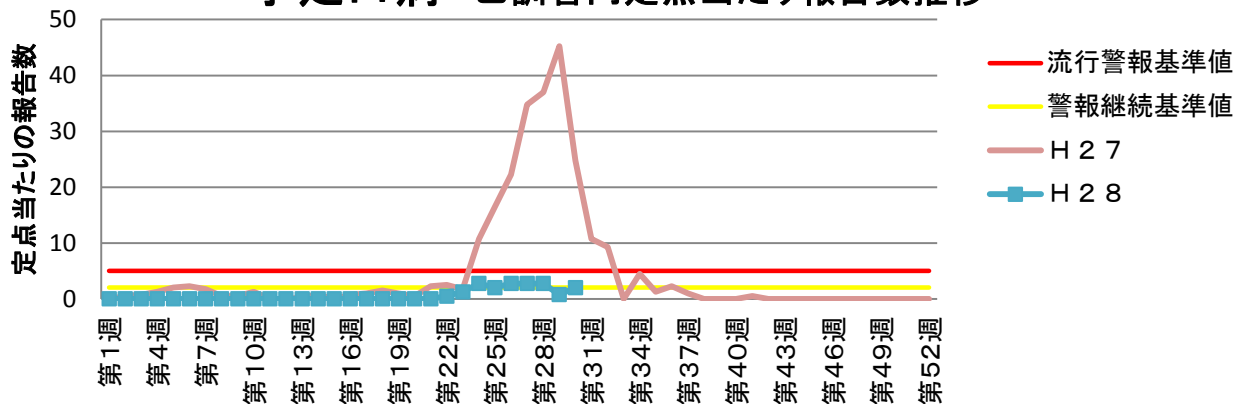
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



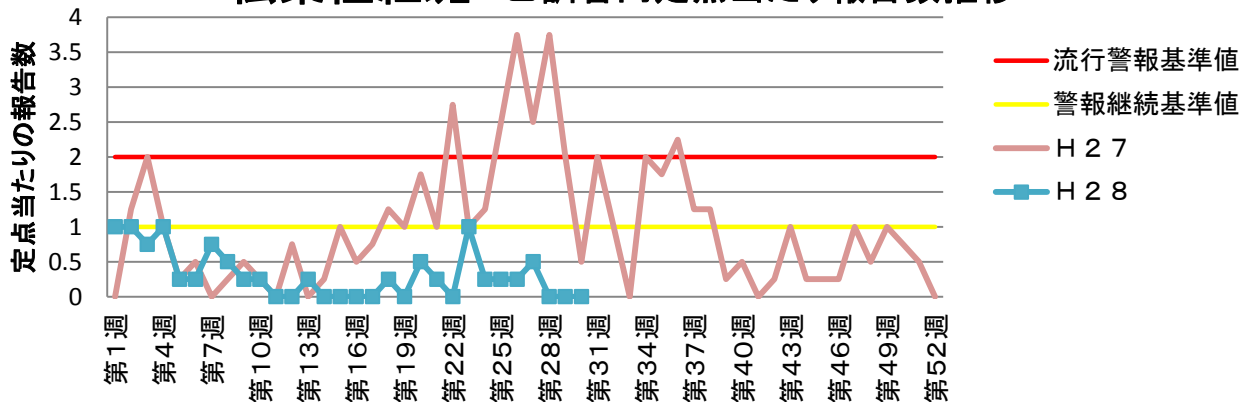
### 水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



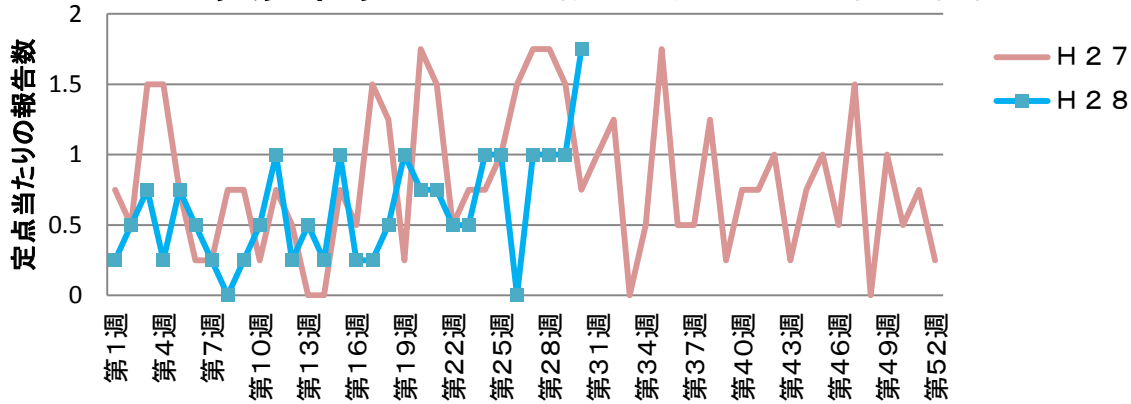
### 手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



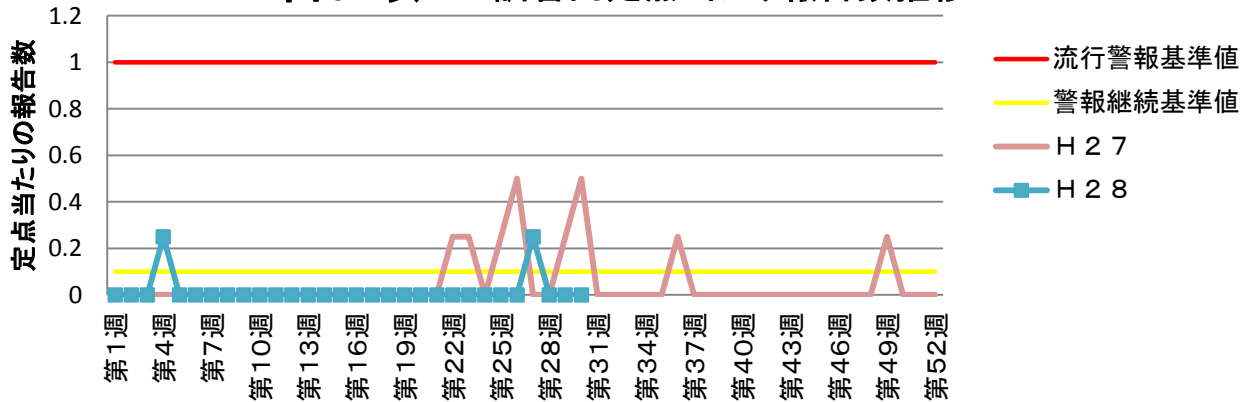
### 伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



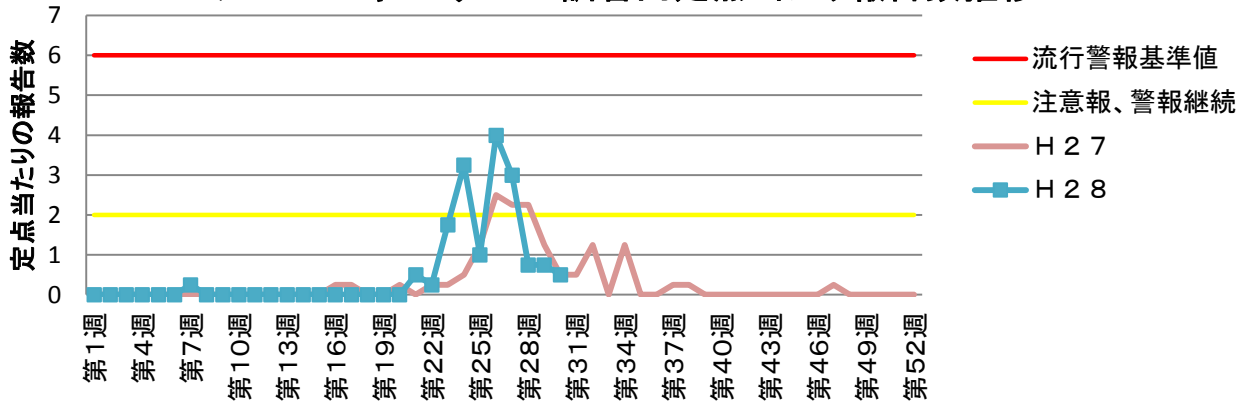
### 突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



### 百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



### ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



### 流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

